

第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の内容等について

(答申)

本会議は、令和元年7月29日に貴職から諮問された「第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の内容等」について審議してきましたが、このたび諮問事項について結論を得たので、ここに答申します。

令和2年2月28日

岩見沢市長 松野 哲 様

岩見沢市子ども・子育て会議

会長 平野 直己

副会長 泉 久美子  
寅 嶋 静 香  
藤 根 美 穂  
岸 めぐみ  
佐 藤 善 樹  
吉 田 幸 雄  
石 垣 正 公  
藤 田 雅 子  
福 多 範 子  
梅 田 英 世

## 第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画等答申書

子ども・子育てについては、社会全体で取り組むべきものであることから、第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画については、次世代育成支援対策推進法に基づく次世代育成支援行動計画、子どもの貧困対策の推進に関する法律にもとづく市町村計画ならびに児童福祉法改正にもとづく市町村の責務と役割の明確化にともなう児童虐待対策の施策と一体的に整備し、その名称を「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」とし、以下の内容について反映されたい。

### 1 計画の位置づけ

計画の策定に当たっては、子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく市町村計画ならびに児童福祉法改正にもとづく市町村における児童虐待対応の施策を併せ持つこと。

### 2 基本理念ならびに基本的な考え方について

基本理念については、第1期計画で定めた「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪」を引き続き反映させること。

基本理念の実現化に当たっては、子どもと子育てについて「支える人」と「支えられる人」がその時々によって立場を変え、一人ひとりの成長と満足につながるという視点で第1期計画に引き続き構成や内容に反映させること。

### 3 3つの視点と事業の優先順位について

基本理念を実現するための具体的な方策に関する考え方を「安全」「安心」「笑顔」の3つの視点から整理し、具体的な事業の実施については、優先順位を明らかにして取り組むこと。

### 4 年次的取り組みについて

計画初年度において必要量の見込みに応じた確保策を講じることのできない事業については、民間事業者等との連携にも努め、計画期間内に必要量を確保すること。また、児童虐待防止、子どもの貧困対策に係る事業については、子どもたちが育つ環境によって将来を左右されることのないよう、その有効性を評価しながら、取り組むこと。